



テクニカル・メッセージ

ターボチャージャーの故障を防ぐために オーバーホール（交換）を推奨します

ターボチャージャーは走行距離や時間の経過によって、内部部品の摩耗や劣化が進みます。また、そのまま使い続けると、エンジン性能の低下だけでなく、ターボチャージャーの部品が破損し、エンジン内部に混入することでエンジン本体がダメージを受け、路上故障につながるおそれがありますので、日頃の点検、整備に加えてターボチャージャーのオーバーホール（交換）をしていただくことを推奨致します。

■ 対象車両

大型トラック・バス

■ ターボチャージャーのオーバーホール（交換）時期について

以下の交換時期でのオーバーホール（交換）を推奨致します。

50万～80万kmごとを推奨
発進停止の繰り返しが多い車両は30万～50万kmごとを推奨

上記の推奨交換距離は定期的なメンテナンスを実施している場合で、車両の使用状況により異なります。メンテナンスノートに記載されている厳しい使い方（シビアコンディション）や高負荷連続運転が多い場合等、使用状況に合わせて早めのオーバーホール（交換）をお奨めします。

■ ターボチャージャー部品の摩耗や劣化について

ターボチャージャーは、排気ガスを動力源としてタービンがおおよそ毎分1万～10万回転の広範囲で高速回転し、高温となる厳しい条件で使用されます。そのためターボチャージャーの内部部品は摩耗・劣化します。また、その潤滑等、重要な役割を担っているエンジンオイルも劣化します。

